

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年10月29日

【2018年10月20日～2018年10月26日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。ブラジル大統領選挙の決選投票でボウソナロ氏が勝利するとの期待が、ブラジル・レアル上昇の追い風となったと考えられます。

ブラジル大統領選挙に関しては、28日（現地、以下同様）に決選投票の投開票が行われ、事前の予想通り、極右候補のボウソナロ氏が勝利しました。7日の第1回投票では、同氏は決選投票なしで当選を決めるのに必要な得票率に及びませんでした。犯罪や汚職の取り締まりを選挙公約に掲げ人気を集めたほか、シカゴ学派のエコノミスト、パウロ・ゲデス氏を経済顧問に起用し、富裕層・投資家の支持を獲得したことなどが勝利につながったとみられます。

経済指標に関しては10月の消費者物価指数（IPCA-15）が発表されました。10月としては2015年以降で最高の数値となったものの、前年比で見れば中央銀行のインフレ目標の中央値を僅かに上回った程度で、目標範囲内に収まっています。

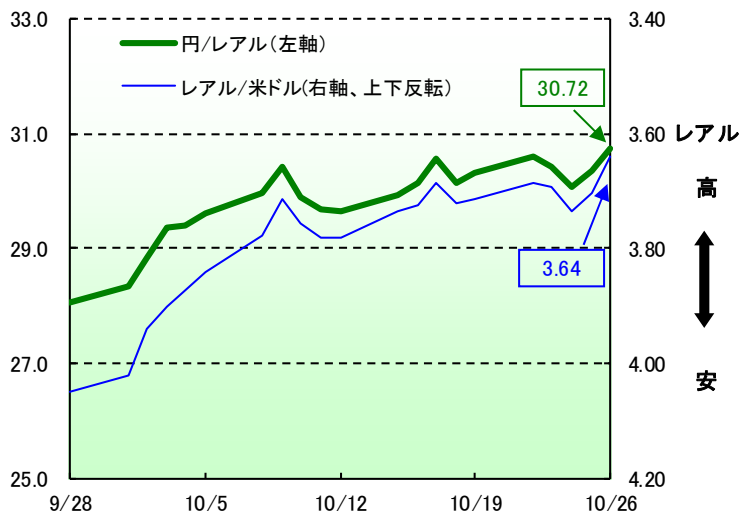
【2】今週の見通し

今週は、PMI（購買担当者指数）や鉱工業生産などの経済指標の発表が予定されています。また、ブラジル中央銀行からは政策金利の発表が予定されていますが、市場では据え置き予想が大多数となっています。

大統領選挙では過激な発言から「ブラジルのトランプ」ともいわれるボウソナロ氏が勝利しました。長期にわたる景気低迷とそれに伴う高失業率、山積する債務、大規模な汚職の発覚など、ブラジルは多くの問題を抱えています。来年1月1日に大統領に就任するボウソナロ氏はブラジルのかじ取りを引き継ぐことになり、今後は発言だけではなく、同氏の政治手腕に市場の注目が集まると考えられます。

【ブラジル・レアル 為替推移】

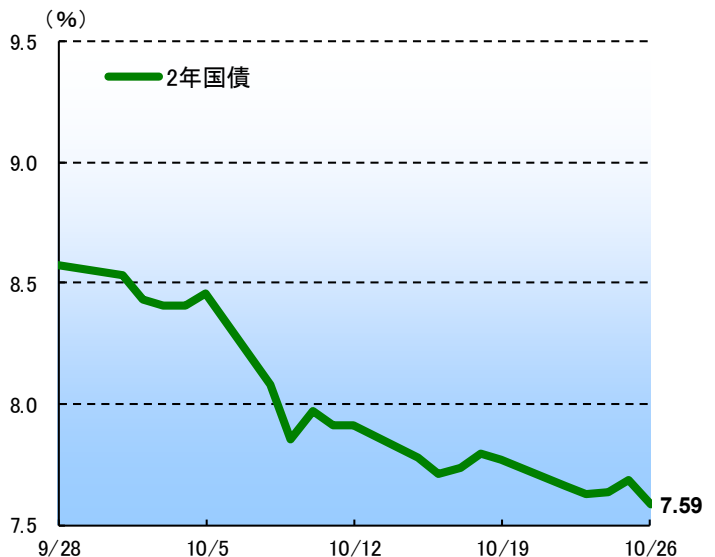
(2018年9月28日～2018年10月26日)
(円/レアル) (レアル/米ドル)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2018年9月28日～2018年10月26日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>